

## 回答書

令和6年3月22日

旧畠山一清邸新座敷移設復元工事に係る質問書への回答は次のとおりとなります。

番号	質問事項	回答事項
1	掘削土の仮置きや残った残土の処分はどの様にしたら良いか。	当該工事終了後の外構工事で利用を想定しているため、原則として場内処理とします。場内では仮置きしきれない場合には、受託者の交渉責任において隣接地等の使用も可とします。
2	工事車両の駐車場及び仮設事務所は、東側の駐車場が借りれるか。	受託者による交渉とします。
3	市指定文化財の工事なので、監修される先生は居りますか。	予定しています。
4	上下水道の接続は、東南側のバルブへの接続で良いでしょうか。	南東側バルブへの接続が良いが、詳細については受託者により管理者へ確認をおこなうこととします。
5	下水道及び雨水排水は、南側の側溝への接続で良いでしょうか。	下水については浄化槽接続とし、雨水排水については良いです。
6	電気幹線の引込は、電柱から引込ポールにより引込む計画となっておりますが、建設地のハンドホールからの引込も可能でしょうか。	原則、設計通りとし、受託者と委託者の協議により可能としますが、その際の経費の増額分については受託者が負うこととします。